

はま風 *sea breeze*

Vol. 27
2023. 1

図書館の電子書籍を活用しよう



- ◆ 巻頭言 p. 2
「問うこと」の再考
教育学部 学部長 長谷 浩也

- ◆ 推薦図書を紹介 p. 3, 4
 - ・「学習指導要領解説」を読むことの意味
教育学部 こども未来学科 准教授 畑 宗平
 - ・「死ぬまでに行きたい！世界の絶景 日本編」
看護学部 看護学科 助教 谷村 卓勇
 - ・「復活への底力：運命を受け入れ、前向きに生きる」
教務・学生・厚生課 課長代理 白石 卓司

- ◆ 図書館の電子書籍を活用しよう p. 5

- ◆ 附属図書館からのお知らせ p. 6

卷頭言

「問うこと」の再考

教育学部 学部長 長谷 浩也



コロナ感染防止、エネルギー問題など現存する人々の記憶にない世界的な規模の諸問題に直面する中、人類の共同体、地球市民の一員としての自覚を強く持ち、智慧を出し合って行動していかなければならないと誰もが強く感じていることではないでしょうか。

これらの状況に立ち向かうためには、自分自身に関わる問題についての対処だけにとどまらず、社会的諸問題についても、目を背けることなく、自分ができることは何かを考えることが大切となります。つまりは、自分自身に「問う」ことが重要となります。

「問う」ことは、何もグローバルな問題解決の時だけに行うことではありません。普段の何気ない日常生活の中で、疑問を感じ、それを調べ解決に導いたとき、達成感を得て、心躍る経験を重ねることもあてはまります。これらのことは、人として豊かに生きていくために不可欠なものであり、それを成し遂げるためには、大切にしなければならない行為となります。社会情勢の煽りもあり、各人が、多忙を極める中、豊かに生きていくための「問い」が失われつつあるように感じるのは私だけでしょうか。

さて「問い」を通じて豊かさを得る行為の一つに「読む」が挙げられます。「読む」ということに目を向けてみましょう。

一般的に「読む」ということは、本等に書かれている事柄を理解しながら、主人公や作者の考え、生き方に出会い、「そうそう」と同意をしたり、「なぜそうするのか」と異論を唱えたりしながら読み進めていく行為です。そして最終的に主人公や作者の見方や考え方をも含む生き方にふれるだけではなく、自分の行動や生き方への「問い」を見つめ直すことにつながります。もちろん、様々なジャンル、内容の深浅によっても「問い」は異なってきます。

このように考えると、本に出会うということは、自分自身の考え方を振り返り、一考させてくれる仲間、先生、親等に出会うようなものであるとも言えます。

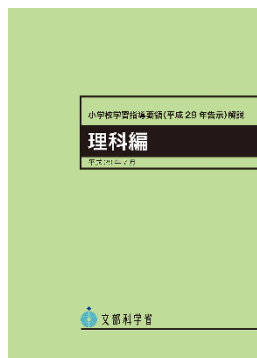
また本は、我々人類が最も長く付き合ってきたメディアでもあります。人類は本を「読む」行為を通して、作者やその感性と出会い、最後に自分自身と向き合ってきました。間接的ではありますが、時代を超え様々な立場の者が、自分だけの世界観だけでなく、他者が描いた世界観を知り、新たな知識を獲得したり、見方や考え方にふれたりしてきました。そのことで、年齢、性別問わず、どれだけの人が豊かになってきたことでしょう。映像を「読む」ことでも感動、感激を得ることはできます。しかし、言葉を通して、主人公の表情、情景を創りあげる、その連続の中で味わう感動、感激とは異なります。

今一度、主人公や作者の考えと出会い、そして何かに「問い」を持ち、自分自身と向き合う時間をとってみませんか。

まずは本を手にとることを、その一歩としてください。そこから何かが生まれるはずです。そして何かを「問う」ことを通して、人として豊かに生きていくための時間をとってみませんか。



推薦図書を紹介



「学習指導要領解説」を読むことの意味

教育学部 こども未来学科 准教授 畑 宗平

学習指導要領は文部科学省が定めているカリキュラムを編成する際の「基準」で、1947年に刊行されて以来10年ごとに8回の改訂が行われた。

まず、アメリカ式の経験主義教育から始まり、これでは科学が身につかないということで、スプートニクショック等もあって、第2~3回改訂で系統化して基礎学力の充実・科学技術教育の向上を行った。その結果、受験戦争や校内暴力といった詰め込み教育の弊害が社会問題化した。第4~6回改訂でゆとり教育に移行すれば知識すら身につかないと揶揄された世代が社会問題となった。第7~8回改訂で若干系統化し脱ゆとり教育と生きる力の育成が行われている。また、昔は積み上げ型だった知識・技能の習得は第6~7回改訂でスパイラル型に変わった。

「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説」

配架場所：授業参考書コーナー

請求記号：375.1||MON||2017

ラベル番号：0044444

例えば、教育学部生の皆さんが受けてきた理科教育と現在の小・中学校理科教育と将来皆さんが授業で行う理科教育は時代とともに学ぶ内容が変化している。このことを多くの学生は知らない。

教師は「過去の流れの中で日本の教育が今どういう位置づけになって、今後どうなっていかなければいけないか」を理解し考えなければならない。教職を目指す皆さんには学習指導要領解説を是非とも読んでいただきたい。



「死ぬまでに行きたい！世界の絶景 日本編」

詩歩（著） 三オブックス 2014年7月

看護学部 看護学科 助教 谷村 卓勇

この本は Facebook ページ「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」から派生した写真集です。日本特有の四季折々の美しい景色の写真は、圧巻の一言です。日本にはまだまだ自分の知らない美しい景色があるのだと感じることができます。美しい景色の写真を見るだけでも十分に楽しむことができますが、この本には景色を見るのにお勧めの季節や予算、景色周辺の観光スポットを含めた旅行計画も記載されています。学生

配架場所：一般図書コーナー

請求記号：290.9||SHI

ラベル番号：0043900

生の皆さまはコロナ禍での実習などで行動制限が続いており、なかなか旅行に行くことができない現状であると思います。そのような現状において、この本は旅行をした気分を味わうことができるためお勧めです。日々の学習の息抜きに、行動制限がなくなり自由に旅行が行けるようになった時の予習に、この本を是非手に取って読んでいただけると幸いです。

推薦図書を紹介



「復活への底力：運命を受け入れ、前向きに生きる」

出口 治明（著） 講談社 2022年7月

教務・学生・厚生課 課長代理 白石 卓司

私のお勧めしたい本は、出口 治明の著書「復活への底力」です。立命館アジア

太平洋大学（APU）の出口 治明学長は、2021年9月に脳出血となり意識障害と右の手足の麻痺を患い、話せなく（失語症）になりました。

配架場所：一般図書コーナー

請求記号：080||KOD||2666

ラベル番号：0050398

人は大病をすると「人生とは何か」について考え始めたり、人生観や死生観が変わったりするとよく言われますが、出口学長は病気によってこれまでの人生観に影響を受けることはなく、落ち込んでふさぎ込むこともありませんでした。

この本には、出口学長が復帰を目指した理由や落ち込まなかった理由が著されています。

やがて学長はリハビリテーション病院に転院し、リハビリの生活を始めます。リハビリは、医師や看護師、薬剤師に加え、リハビリテーション職と言われる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門職が関わりチームを組んで進められました。

言語聴覚士は、リハビリを続けても出口学長の失語症はかなり重度であり、職場に復帰するという意向に沿えないと感じたこともありましたが、これまでに導入したことのないリハビリの方法で取り組んでいきます。

そして、脳出血となって1年3カ月の2022年3月下旬に、電動車いすに乗って復帰しました。

出口学長には、復帰後の目標がありました。そして不可能と思えることを可能にしました。この考え方や行動の裏付けとなった要因のひとつとして、これまでに本をたくさん読んでいたという事が挙げられると思います。本を読んでいると、先人たちの生き様を学ぶことにより、自分自身の対処方法がわかってくるからです。

そして、入学式の祝辞で次のことを述べています。

「ぜひ、皆さんは、APUでたくさんの人と出会い、本を読み、広い世界を旅して、いろんなことにチャレンジしてください。僕もチャレンジを続けます。一緒にチャレンジしましょう。」(p.193)

令和の時代における「人の生き方」として、「復活への底力」は良き指針となるはずです。

図書館の電子書籍を活用しよう

本学図書館では、紙の書籍だけでなく、パソコンやスマートフォンから利用できる電子書籍も所蔵しています。現在のところ、約 270 タイトルの和洋の電子書籍が利用できます。目的の資料が書架に並んでいなくても、電子書籍で利用できるかもしれません。電子書籍の所蔵状況は「蔵書検索」の画面から検索することもできます。様々な資料を十分に活用するために、まずは気軽にアクセスして使い慣れるようにしましょう。

【電子書籍へのアクセス方法】

① 図書館ホームページへアクセス

② 各電子書籍プラットフォーム別にアクセスする場合はこちらから →

③ 全ての所蔵電子書籍を対象に検索して利用する場合は、当館の蔵書検索システムを使用してください。

請求記号	資料状況	巻次	配架場所	貸出情報
482.916		: electronic bk	姫路大学 [マップ] 開架 帯出	ラベル番号: 電子資料: 参照URL

電子書籍の蔵書情報にはリンク URL が表示されます。個人のパソコンやスマートフォンからアクセスするとリモートアクセス用 ID・パスワードや個人アカウントの入力画面が表示されますので入力してください。学内に設置されたパソコンからは入力不要です。

学内のパソコンではなく、個人のパソコンやスマートフォンから利用する場合

(= 学外アクセス) は、リモートアクセス用 ID・パスワードまたは個人アカウントを作成するなどしてログインする必要があります(それぞれのサービスにより方法が異なる)。通学の本学学生へは当館より、リモートアクセス用 ID・パスワードや学外からの利用方法を Melly でお知らせしています。

Maruzen eBook Library

【当館所蔵タイトル】看護学、教育学、その他の教養書や音声付の英語学習書

- 当館所蔵タイトルはログイン後、[購読一覧] から利用できます。
- 本文のダウンロード・印刷(制限ページ数内に限る)には「@koutoku.ac.jp」のメールアドレスを登録する必要があります。
- 学外から利用するには、事前に各自で学内パソコンにてユーザー認証アカウントを登録しておくか、当館の利用者専用ページ(My Library)にログインして、ページ内左側の Maruzen eBook Library のリンクをクリックすれば利用できます。

EBSCO eBooks

【当館所蔵タイトル】看護学の和洋学術書、英語語学リーダー

- オープンアクセスの文学作品の洋書「EBSCO eClassics Collection」の 25 タイトルや学術洋書「EBSCO eBooks Open Access Collection」約 3,000 タイトルも利用できます。
- 「EBSCO AudioBooks」では、約 10 タイトルの Oxford Bookworms のオーディオブックが利用できます。それらのペーパーバック版(紙媒体)も当館で所蔵しています。
- 学外アクセスは、本学共通のリモートアクセス用 ID・パスワードでログインするか、MyEBSCO host(個人アカウント)を各自の Google メールで設定してサインインすることにより可能となります。

ProQuest Ebook Central

【当館所蔵タイトル】主に看護学の学術洋書

- オープンアクセスの学術洋書「Open Access Complete」約 3,000 タイトルが利用できます。
- 個人アカウントを作成すれば、学外アクセス、ブックシェルフ、しおりやマーカー機能、全文ダウンロード(期限付きでのオフライン利用)などの機能が利用できます。但し、全文ダウンロードをするには、事前に端末に Adobe Digital Edition をダウンロードしておく必要があります。

KinoDen

【当館所蔵タイトル】看護学の学術和書

- bREADER Cloud の個人アカウントを作成してサインインすることで、読みたい本を My 本棚に登録し、しおり機能やマーカー機能を使うことができます。My 本棚に登録していても、同時アクセス数制限が適用されるため、本を開いていない限り、同時アクセス数制限内で他の人も利用することができます。
- 個人のスマートフォンやタブレットで利用する場合は、bREADER Cloud アプリをダウンロードして利用してください。

附属図書館からのお知らせ

蔵書点検に伴う休館について

2023年2月14日(火)から2月18日(土)までの期間は、蔵書点検のため休館します。ご不便をおかけしますが、ご了承くださいますようお願いいたします。なお、当館所蔵資料に対する郵送貸出申込(送料申込者負担)、図書館間相互利用による学外への文献複写・図書貸借申込、レファレンスサービスのWeb申請は、休館中も受付けています。但し、点検作業中のため、回答が通常より遅くなる場合があります。

卒業予定学生の資料返却期限について

2022(令和4)年度に卒業する学生の図書館資料の返却期限は、2月28日(火)とします。借りている全ての資料を返却してください。卒業後の本学図書館の利用については図書館ホームページで案内します。

図書館システムの変更に伴うシステム停止と休館について

このたび、現在本学図書館が導入している図書館システムを新システムに変更することになりました。利用者の皆さんが現在利用している当館の蔵書検索システムの画面や利用者専用ページ(My Library)の画面が変更され、使用方法も変わります。このシステム変更のため、下記の期間は図書館を休館します。大変ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

システム変更に伴う図書館の休館 ----- 2023年3月15日(水)から3月23日(木)まで

2023年3月15日(水)以降は、現在の蔵書検索システムと利用者専用ページ(My Library)は利用できなくなります。新しい蔵書検索システムや個人ページ機能の利用方法は、別途当館より案内いたします。

読書推進企画「HimeU×Book×Link (ヒメユー・ブック・リンク)」について

学生の方を対象に、2021年度まで実施していた「読書マラソン」をリニューアルし、2022年度の4月にスタートした企画です。新たに景品として電子ギフトカードを導入し、今年度、既に獲得された参加者もいます。本を読み、投稿フォームに感想を投稿することでポイントが付与され、ポイントの数に応じて景品を受け取ることができます。随時参加者を募集していますので、奮ってご参加ください！

HimeU×Book×Link について詳しく知る
----->



姫路大学附属図書館 のブックログ
----->



姫路大学附属図書館ニュースレター

はま風 sea breeze 第27号 2023年1月26日(木) 発行

■編集・発行 姫路大学附属図書館

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町 2042 番 2

TEL: 079-247-7396

E-MAIL: tosyokan@koutoku.ac.jp

編集後記

今年度より、人々の生活には With コロナを意識した動きが見られるようになり、本学においても対面授業が再開され、次第に After コロナでの教育研究のあり方を考えさせられる日々となりました。コロナ禍に伴い、当館においても、時や場所を問わず利用できる電子書籍を拡充しましたが、学生の皆さんは利用できていますでしょうか。After コロナはどのような時代になっていくのか、今後私達は、紙の書籍、電子書籍を問わず、「読み」、「問う」という行為を経て、新しい気づきを得られてこそ、豊かに意義のある人生を送っていくことができるのではないのでしょうか。